

# 利尻島における陸産ウズムシ類（扁形動物門：三岐腸目）の初記録

森井悠太・内田翔太

〒 980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41 東北大学大学院生命科学研究所

## First Record of the Terrestrial Planarian (Platyhelminthes: Tricladida) in Rishiri Island, Northern Hokkaido, Japan

Yuta MORII and Shota UCHIDA

Graduate School of Life Sciences, Tohoku University,  
Kawauchi 41, Aoba-ku, Sendai, Miyagi, 980-8576 Japan

**Abstract.** The terrestrial planarian (Tricladida, Platyhelminthes) was discovered for the first time on Rishiri Island, northern Hokkaido, Japan. It was classified as Tynchodemini (Rhynchodeminae, Geoplanidae) based on its morphological characters.

**Keywords:** Rynchodemini, Rhynchodeminae, Geoplanidae, Tricladida, Terrestrial planarian, Rishiri Island

### はじめに

陸産ウズムシ類は、扁形動物門、三岐腸目（ウズムシ目）に属するウズムシ類のうち、陸上に生息するものの総称である。近年の分子系統学的な研究から単系統群であることが示唆されており、分類学的にはリクウズムシ科（Geoplanidae）にまとめられる（図1；Sluys *et al.*, 2009）。体節がなく、口が前端に見られないことなどから、陸上に生息する他の生物群と区別できる（青木, 1999）。

利尻島ではこれまでに、複数回にわたって淡水産ウズムシ類（プラナリア）の調査がなされ、2種の固有種（リシリウズムシ *Dendrocoelopsis ichikawai*, リシリオオウズムシ *Bdellocephala borealis*）を含む多種のプラナリアの生息が明らかになっているが（石田, 2000；石田ほか, 2011）、陸産ウズムシ類の生息が確認された事はないと思われる。筆者の一人である森井は、2014年6月29日に、利尻島北部の姫沼付近にあるノドットマリ川沿い（図2, St-1, N 45.22686° / E

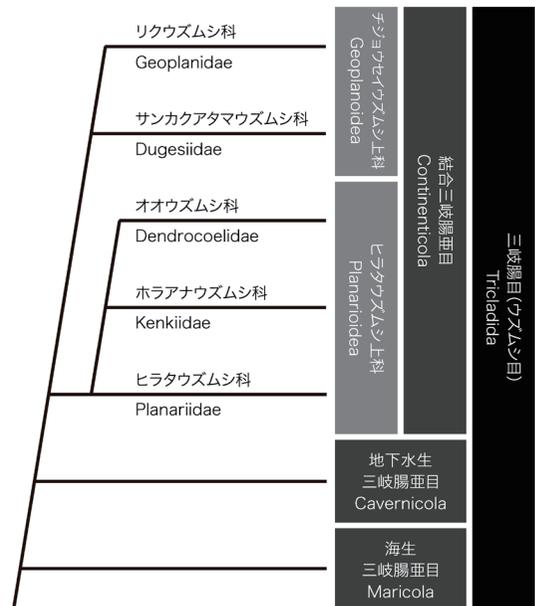


図1. DNA分子形質に基づく三岐腸目（ウズムシ目）の分類体系（Sluys *et al.*, (2009), 久保田・川勝（2010）を改変）。

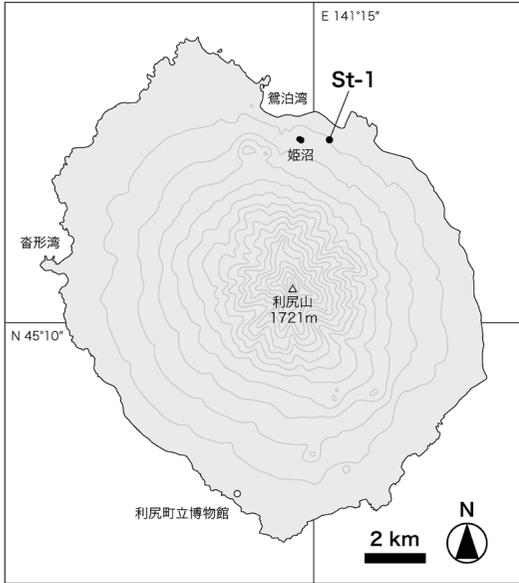


図2. 陸産ウズムシの観察地点 (St-1).



図3. 発見された陸産ウズムシ類.

141.26077°) において、体長 10mm ほどの陸産ウズムシ類 2 個体を発見したので報告する。

### 分類および考察

発見された個体には比較的大きな一對の眼点があり、また特に前端が細長いことから、リクウズムシ科 (Geoplanidae), Rhynchodeminae 亜科, Rhynchodemini 族の一種であると判断した (図 3; Ogren & Kawakatsu, 1988; Sluys *et al.*, 2009; 久保田・川勝, 2010). より下位の分類のためには、内部形態の観察や DNA 分子形質を用いた同定をす

る必要があるが、標本が残っていないためにそれは叶わない。利尻島における陸産ウズムシ類の分布が移入によるものなのかどうか、現時点では判断できない。今後のさらなる調査が待たれる。

なお、本報告では Sluys *et al.* (2009) によって提唱された、分子系統学的知見を元にした新しい分類体系を採用している (図 1)。Sluys *et al.* (2009) より前の分類体系に照らし合わせるならば、今回利尻島において発見された陸産ウズムシ類は、Rhynchodemidae 科, Rhynchodeminae 亜科の一種と分類できる (Ogren & Kawakatsu, 1988; Winsor *et al.*, 2004)。Sluys *et al.* (2009) より前の分類体系における Rhynchodeminae 亜科は、それ以降の新しい分類体系における Rhynchodemini 族に相当する。

### 謝辞

野外調査にあたり、佐藤雅彦学芸員 (利尻町立博物館)、宮本誠一郎氏 (礼文島レブンクル自然館)、佐藤里恵氏 (日本野鳥の会道北支部) のご助力をいただいた。この場を借りて、厚く御礼申し上げる。なお本研究は、平成 26 年度利尻島調査研究事業の助成を受けて行われた。

### 引用文献

- 青木淳一, 1999. 日本産土壌動物 - 分類のための図解検索. 東海大学出版会. 東京. 1076pp.
- 石田幸子, 2000. 利尻島に生息するプラナリア (平成 10 年度利尻島調査研究事業報告). 利尻研究, (19): 45-49.
- 石田幸子・西谷信一郎・吉田 渉・K. D. Kuznedelov・佐藤雅彦, 2011. 利尻島における *Phagocata* 属プラナリア 2 種の初記載 — 一種の同定・核型分析・18S rDNA の部分配列の比較 —. 利尻研究, (30): 75-82.
- 久保田 信・川勝正治, 2010. 和歌山県産コウガイビル類 (扁形動物門, 三岐腸目, 結合三岐腸亜目, リクウズムシ科, コウガイビル亜科) の続報と本動物群の高次分類体系に関する注記. 南紀生物, (52): 97-101.

- Ogren, R. E. & M. Kawakatsu, 1988. Index to the species of the family Rhynchodemidae (Turbellaria, Tricladida, Terricola), Part I: Rhynchodeminae. *The Bulletin of Fuji Women's College, Ser. II*, 26: 39-91.
- Sluys, R., M. Kawakatsu, M. Riutort & J. Bagunna, 2009. A new higher classification of planarian flatworms (Platyhelminthes, Tricladia). *Journal of Natural History*, 43(29-30): 1763-1777.
- Winsor, L., P. M. Johns & G. M. Baker, 2004. Terrestrial planarians (Platyhelminthes: Tricladida: Terricola) predaceous on terrestrial gastropods. In: Barker, G. M. (eds.), *Natural enemies of terrestrial molluscs*: 227-278. CABI Publishing, UK.